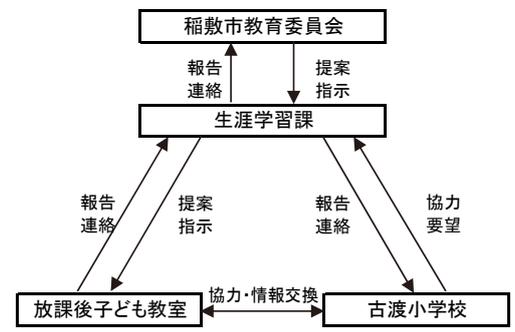


安全な居場所＋安心できる下校手段 —親と子が笑顔になる放課後子ども教室—

茨城県稲敷市	● 活動名	● 関係する学校名
	古渡小学校放課後子ども教室	稲敷市立古渡小学校

開始年度	平成 19 年度	学級数	6 学級	生徒数	78 人
放課後児童クラブとの連携					
一 体 型	連 携 型	(連携状況) <input checked="" type="checkbox"/> 毎回 <input type="checkbox"/> 定期的に <input type="checkbox"/> イベントがある時 <input type="checkbox"/> 活動場所を共有 (共有の活動場所) 古渡小学校敷地内	連 携 な し	子 供 の 参 加 人 数	平均人数 35 人
統括的な地域 学校協働活動 推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協 働活動推進 員の数	配置人数 2 人	実施場所	施設名：古渡小学校 実施場所：校庭・体育館等
ボランティア の数	登録人数 6 人	属性	地元住民	学習活動の有無	無
参考 URL	http://www.city.inashiki.lg.jp/				

● 体制図



● 連絡先 稲敷市教育委員会 生涯学習課 ☎ 029-892-2000

● 活動の概要・経緯 「子供たちに安全で安心できる居場所を作る」を目的に、平成 19 年度にスタートした古渡小学校放課後子ども教室は、今年で 11 年目の活動を迎える。学校の協力を得て、校庭や体育館などを活動場所として、自由に過ごせる「安全な遊び場」を提供している。『子供たちの思い出に残る活動をしたい』とミニ運動会や調理教室など、様々な企画を提案してくれるスタッフは児童の保護者がほとんどである。また、下校ルートに人通りの少ない道も多いため、高学年の下校に合わせて活動を終了し、全学年で集団下校をしている。さらにスタッフも見守りに参加することで「安心できる下校手段」も同時に確保している。

放課後子ども教室

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・活動は月～金の週 5 回、対象は古渡小学校に在籍する全ての児童で、加入は希望制としている。
- ・晴れの日には校庭、雨の日には体育館を使用し、広い遊び場でのびのびと自由に遊ぶことが活動の主体である。
- ・月 1 回のペースで開催するイベントでは楽しく遊ぶことはもちろん、かき氷づくりやクリスマス会、凧揚げ大会等により季節感を養い、また、ボウリング大会やミニ運動会等のチーム対抗イベントでは友達と協力することの大切さを養えるように工夫をしている。
- ・下校時には、子ども教室のスタッフが見守りを実施し、安心できる下校環境を実現している。

【実施にあたっての工夫】

- ・各学期終了時期に「放課後だより」と題してお知らせを配布し、活動中の様子やイベントの内容を伝え、保護者の理解を促している。
- ・学期ごとの子ども教室活動最終日に合わせて、市内 6 校で実施している子ども教室の合同反省会を実施している。実施内容は、今学期の問題点と反省点の発表、次学期へ向けた課題と解決策の発表を実施し、議論を重ねて毎回改善点を挙げながら事業を進めている。
- ・年度当初には学校と調整し、担任の先生から児童の様子や留意すべきことを直接確認している。また、ケガや体調不良に関しては、養護教諭の先生に協力を依頼し、緊急時の連携体制の打合せを学校とスタッフを交えて実施している。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・自由に過ごせる環境で伸び伸びと遊ぶことにより、学校生活の中でも生き生きと活動する姿がみられている。
 - ・放課後の活動であるため、家が近所の子供以外とも遊ぶことができ、広く交流を深めることができる。
 - ・異年齢の子供との交流の中で、遊びのルールを自ら考えることで創造力を養う等、多方面での学習につながっている。
 - ・高学年の児童と一緒に下校をすることで保護者の安心につながっている。
- 上記の効果に対する成果として、1～3年生までの加入率は 95.3%となっている。



鯉 Shikouvo



魚釣り大会

ポイント

活動から下校時の見守りまで丁寧に実践されていますね。安全確保の視点は保護者の目線では大変貴重なものになっていると感じます。季節のイベントや様々な活動を工夫しながら行っていることも良いですね。